

令和6年度 学校評価のまとめ

学校評価の公表について (手段・時期等)	ホームページ上にて公開 (5月)
-------------------------	---------------------

領域	学校関係者評価の結果	学校評価のまとめ
学校経営	学校に関して「入学してよかった」という生徒の割合が高いところで推移しており、市立銚子高校の学校経営が保護者のニーズにマッチしていることがわかります。コロナ禍でさまざまな行事が縮小、削減されていく中で食品販売が復活し、生徒たちの手を使いながらやっていくところに、先生たちの生徒たちを「なんとかしていこう」という意気込みや活力を感じました。	生徒、保護者から学校経営に関して、概ね高い評価を得られており、今後も良い評価が得られるよう継続して取り組んでいく。 全ての生徒の安心安全に生活できるよう、一人一人に寄り添った指導を学校全体で取り組んでいく。
学習指導	授業参観の時も実際に感じたことですが、習熟度別で熱心な学習が展開されていると感じました。先生方も熱心で研修を積まれていると感じました。一部の先生への不満のような言葉が声の中にありましたが、それは個人同士の相性もあるのではないかと感じました。自宅での復習や予習の時間が取れないというデータがありましたが、質問内容に検討の余地がありそうです。	習熟度・少人数授業では、生徒の習熟度に応じ、基礎を中心の学び、基礎から発展的を扱う学びなど生徒に応じた内容を扱えるように取り組んでいく。 「家庭で事業の予習・復習をしている」について「家庭」に限定せず、授業以外の学びの時間をどれぐらい確保していることを重視した質問内容に変更していく内容を検討する。
キャリア教育	コロナ禍では3名の講師を招いての職業人講話が、今年度は11名に増え、さらに卒業生との関わりを持ち、人材を上手に確保している印象が得られた。生徒のニーズに合った形で多くの仕事内容を知ることが出来ていることがすばらしいと感じた。進学指導だけでなくその先を見据えたキャリア教育が充実していることがわかった。	11人の職業人を招いたキャリア教育を行う事が出来た。今年度は統合後の卒業生を中心に講師を依頼した。生徒との年齢も近く、志望大学の選んだ理由やその後の職業を選択するまでの経験談をお話しいた抱くことが出来た。来年度はさらに職種の幅を広げていきたい。
生徒指導	市立銚子高校の先生方の年齢層が若く、生徒達が相談しやすい環境が作られていることがわかる。また、4月、9月、1月と長期休業明けの1週間は面談期間を設け、生徒と話をする機会を設けているところに生徒に寄り添った指導が出来ていることが感じられる。いじめ対策にいたっては早期発見し対応する校内体制が整っていることもわかった。教育相談に関してもスクールカウンセラーの協力を得ながら校内研修を行っていただきたい。	本校では生徒に寄り添う生徒指導を重要に考えている。教育相談を中心とした生徒に寄り添う体制を整えている。来年は生徒の相談への傾聴を重視した職員研修を開き、生徒の悩みに寄り添える専門的な知識を職員が持てるよう体制を整えていきたい。
不祥事根絶	市立銚子高校では、不祥事に関しての研修が職員会議ごとに行われており、本校からは絶対に不祥事をださないという意識を感じた。 市立銚子高校の先生方の仕事量の多さについて説明を聞いて驚きを感じる。先生方のストレス、過剰労働の削減に向けての業務改善が進み、時間外在校時間の削減が行われている事がわかった。	「本校からは絶対に不祥事を出さない」という意識を持ち、職員一人一人が不祥事根絶の意識を保ち続けられるよう、不祥事根絶研修について年間計画を立てたい。 職員の仕事量を調節し、時間外在校時間の削減ができるよう職員の意識を変えていきたい。
連携・協働	高校生ともなれば、清掃もしっかりとできるはずですが、汚れが目立つとの声も少なからずありましたが、意識の問題もあるのかもしれませんが。早く帰りたいとか、自分がそんなに頑張らなくてもという気持ちもあるのではないのでしょうか。年齢が上がるにつれ公共に対する道徳的意識は薄れますね。お互いの人間関係が少し希薄になってきているともいえるかもしれません。	本校は、職員会議や小テスト、考査期間、放課後に模試をおこなっていることもあるため、清掃を行わない期間がある。清掃する日数を来年度は確保していき、校内美化に努めていきたい。また公共に対する道徳的意識を高める教育を行って行く。